

アパホテル〈山形駅前〉（仮称） 2028 年 3 月開業予定！

日本最大級のホテルチェーンを展開するアパホテル株式会社(本社:東京都港区赤坂 3-2-3、取締役社長:元谷芙美子)は、株式会社 TKP(本社:東京都新宿区市谷八幡町 8 番地 代表取締役社長:河野 貴輝)とフランチャイズ契約を締結し、山形県山形市にアパホテル〈山形駅前〉(仮称)を 2028 年 3 月(予定)に開業することに合意し、ホテル計画地(山形県山形市幸町 6 番 6 号)において本日起工式を執り行った。

記者発表において、アパグループ専務の元谷 拓は、「本日アパホテル〈山形駅前〉の起工式を執り行うことができ大変嬉しく思う。アパホテル最大のフランチャイズパートナーである株式会社 TKP が株式会社 NOB ホールディングスと組んでアパホテルを選んでいただいたことは強固なビジネスモデルになる。このホテルには山形のレジャー、ビジネス出張者など多くの宿泊者の受け皿となっていていただきたい。仙台から 1 時間前後で移動することが可能なこの山形には今後も宿泊需要が大いに見込まれる。当社は山形県所有の土地にアパホテル〈永田町 半蔵門駅前〉を建てた経緯もあり、山形県民とは昔からずっと懇意にしている。そんな山形に今回のような強固なビジネスモデルで株式会社 TKP にアパホテルを展開いただけることはうれしく思う。イベントも多い山形で今後も賑わい感を出していき宿泊者の受け皿として東北六県との連携を通じ、東北経済発展の起爆剤となることを期待している。」と述べた。

アパホテル〈山形駅前〉(仮称)は、JR 線の「山形」駅東口から徒歩 4 分、東京駅から山形新幹線で 2 時間 40 分、東北の中心地である仙台駅から直通の高速バスで 1 時間 10 分の立地で、山形市は蔵王の自然と温泉、豊かな食文化が魅力な城下町である。米誌『ナショナルジオグラフィック』が 2025 年 10 月に発表した「2026 年に行くべき世界の旅行先 25 選」に山形県が国内で唯一選ばれた。開業後は国内、インバウンドなど宿泊需要を広く取り込んでいく。

設計はアパグループが行い、アパホテルコンセプトである「新都市型ホテル」(「高品質」「高機能」「環境対応型」)の最新仕様を計画し、客室数は全 237 室を予定している。館内には天然温泉の露天風呂のほか、内風呂やサウナを備えた大浴殿を設け、旅の疲れを癒やし、ゆったりとくつろげる空間を提供する。

山形県におけるアパホテルは、運営中のアパホテル〈山形鶴岡駅前〉(全 137 室・鶴岡市)と建設中のアパホテル〈山形鶴岡駅前西〉(全 300 室・鶴岡市・2027 年 8 月開業予定)合わせ、3 棟目となる。

【ホテル概要】

ホテル名	アパホテル〈山形駅前〉(仮称)
住所	山形県山形市幸町 6 番 6 号
アクセス	JR 山形新幹線、奥羽本線「山形駅」(東口)から徒歩 4 分
構造・規模	鉄骨造・地上 14 階建
客室数	全 237 室(ダブル 66 室、ツイン 168 室、デラックスツイン 3 室)
館内施設・設備	レストラン、大浴殿、露天風呂、サウナ

【アパグループ】

国内自社ブランド 367 ホテル・86,190 室、海外 56 ホテル・5,719 室を展開している(建築・設計中含む)。2022 年 4 月より始動した 5 ヶ年計画「AIM5~APA Innovative Movement」の目標について、前倒しで達成の目途が立ったことを受け、2026 年 4 月に新中期 5 ヶ年計画「AIM5-II」を始動。2031 年 3 月末までに国内自社ブランド単独 10 万室を目標とするほか、ホテル分野におけるプラットフォーム事業やマルチ・ブランド化、海外事業に関しては北米事業の強化および次期戦略エリアの模索を推進する。

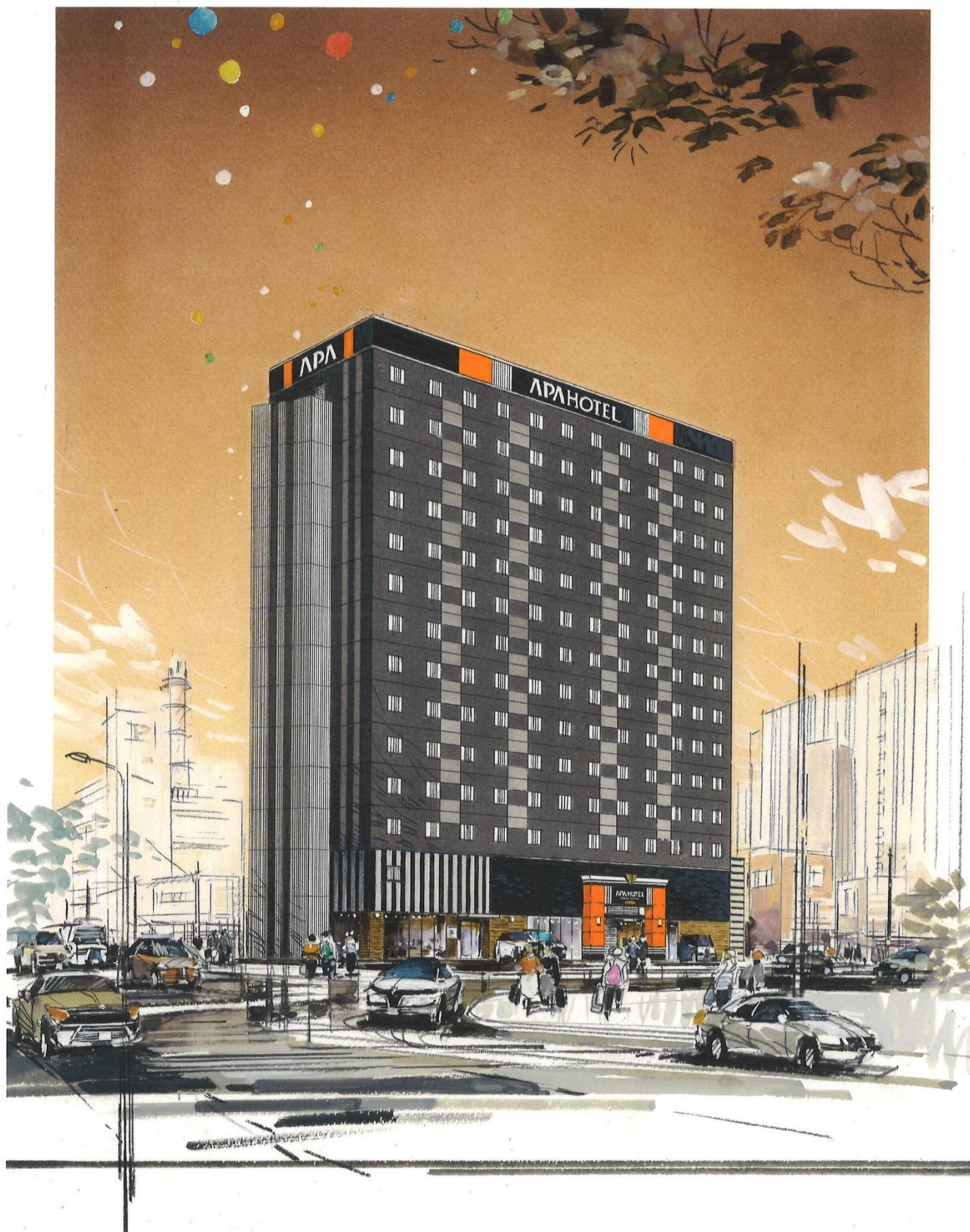
■お問い合わせ先 ※写真データ等必要な場合はメールにて送信します。

アパグループ東京本社 社長室

住所: 東京都港区赤坂 3-2-6 電話: 03-5570-2131

E-Mail: kouhou@apa.co.jp URL: www.apa.co.jp

■外観イメージ



■ 記者会見



■ 神事

